



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 本多 諒子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 本多 諒子

【指導医】

聖路加国際病院 感染症科 石川和宏・森信好

当院にてペニシリンアレルギー登録をされている方を 対象としたアレルギー登録解除に関する研究

1. 研究の対象

2022年1月～2022年12月に当院にてペニシリンアレルギー登録がされている方

2. 研究の目的・方法

ペニシリンを含むβラクタム系抗菌薬は多くの場面で使用される一方で、アレルギーが指摘されやすい抗菌薬でもありますが、診断方法は難しく、一部は重症化することもあり、慎重に診断されてきました。実際に、ペニシリンアレルギーは抗菌薬アレルギーのうち、約10%を占めるといわれています。しかし近年、ペニシリンアレルギーと診断された患者さんでペニシリンに対して重篤なアレルギー症状を有する方は約1%に満たないという可能性が示されてきました。

また、ペニシリンアレルギーを指摘されている方は同分類のβラクタム系抗菌薬の使用を控え、適切な抗菌薬使用が得られないことにより、感染症の治療が不十分となる場合や、耐性菌の増加および臓器障害のリスクが上昇する可能性があると考えられています

本研究では、ペニシリンアレルギーが指摘されている方に対して、アレルギーと判断された症状についてカルテレビューを行い、安全性が示されている tool を使用し、真にペニシリンアレルギーか否かを判定すること、およびそれに伴い将来的にペニシリン系抗菌薬を安全に使用可能とすることを目的としています。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年7月3日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 アレルギー出現時の症状、性別、年齢等